第４２回 大阪大学野田村サテライトセミナー

野田村での５年間の活動と熊本地震

～５年間の活動をふりかえって見えてきたことを本音でトーク～

2011 年 3 月 29 日に兵庫県西宮市から野田村に初めてボランティアバスを運行しました。これまで 26 回ボランティアバスを出し、社会人や大学生など多くのボランティアの皆さんと一緒に、泥のかき出し作業をはじめ、仮設住宅では炊き出しや茶話会、足湯や子ども遊びなど、さまざまな活動を行ってきました。

野田村(被災地)のことを考えて活動を行ってきましたが、我々の活動は「果たして意味はあったのか」「被災住民（野田村村民）の役にたったのか」「もっと出来ることがなかったか」と５年間をふりかえると、様々なことが頭をよぎります。

熊本地震のことも踏まえ、野田村での５年間の活動をふりかえり、被災地支援のあり方について一緒に考えていければと思います.

プログラム

開会挨拶　渥美公秀　大阪大学大学院教授

13:30　野田村での５年間の活動と熊本地震

ー５年間の活動をふりかえって見えてきたことを本音でトークー

講師：寺本　弘伸

認定 NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）常務理事

14:30　座談会

15:30　終了

講師紹介：寺本　弘伸（てらもと　ひろのぶ）

認定 NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）常務理事。大阪市出身。
阪神・淡路大震災（1995 年）でこの NPO 団体と出会い、1996 年からスタッフとして従事。災害救援をはじめ、日頃は、防災イベントの企画や子どもたちの防災教育などを企画運営

参加無料

主催：大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
後援：チーム北リアス、大阪大学野田村コミュニティ復興研究会
国立天文台震災復興データセンター

８月１１日(祝)

１３：３０～１５：３０

野田村リメンバーホープヴィレッジ『ねま～る』

お問い合わせ先
大阪大学野田村サテライト
住所：野田村大字野田 22-114-49　TEL：0194-75-4221
HP：http://www.respect.osaka-u.ac.jp/satellite-nodamura/

RESPECT